

## 平成 29 年度第 3 回熊野市総合教育会議会議録

1. 日 時 平成 30 年 3 月 1 日（木） 午後 1 時 30 分から
2. 場 所 文化交流センター 多目的ルーム
3. 出席者 熊野市長 河上敢二  
熊野市教育委員会  
倉本教育長 大久保委員、糸川委員、高見委員、北野委員
4. 事務局関係  
教育委員会事務局  
岡本総務課長、楠学校教育課長、雑賀社会教育課長補佐  
太田総務課長補佐、小瀬総務課庶務係長  
市長公室  
大西市長公室長  
総務課  
吉田総務課長補佐
5. 事 項  
(1) について

岡本総務課長 定刻になりましたので、ただいまから平成 29 年度第 3 回熊野市総合教育会議を開催いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます、教育委員会総務課長の岡本でございます。よろしくお願いいたします。

総合教育会議開催にあたりまして、河上市長から開催のご挨拶をお願いいたします。

河上市長 教育委員の皆様にはお忙しい中、平成 29 年度最後の総合教育会議にご出席賜り誠にありがとうございます。

また、日頃より当市の教育行政の推進に対し、格別のご理解やご尽力をいただいておりますことに、心からお礼申し上げます。

本日は、1 月末現在の主な重点施策の進捗状況と現時点の成果・課題についてご報告をさせていただき、来年度にむけての、忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。

主な重点施策については、学力向上の推進、豊かな心の育成、安全で安心な学校環境づくり等の 6 項目でございます。いずれの項目も重点として取り組んでいかななくてはならないと考えているところ

でございます。

一方で今、話題にもなっていますが、少子化が非常に進んでいる所でございます。熊野市のここ 5 年間の生まれる子どもの数がだいたい 100 人くらい。7、8 年前に比べて 3 割で 10 年くらい前に比べて約 4 割減ってきているということでございます。子どもたちは当然この地域の将来を担う貴重な人材であり宝でございます。数は少なくなっても、個々の子どもたちがしっかりと自分の力を十分に発揮できるような教育環境を整えて参りたいと思っておりますので、委員の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。本日は、ありがとうございます。

岡本総務課長

ありがとうございました。

お手元に配布の資料の確認をさせていただきます。本日の事項書と平成 29 年度第 3 回熊野市総合教育会議、資料の 3 種類となっております。よろしいでしょうか。

それでは、事項書 2 の (1) 平成 29 年度主な重点施策の進捗状況と現時点の成果・課題について移らせていただきます。

平成 29 年 5 月 25 日に『第 1 回熊野市総合教育会議』を開催し、6 つの重点施策と 24 の主な取組内容について、それぞれご説明し、協議を行っていただきました。また、10 月 5 日に『第 2 回熊野市総合教育会議』を開催し 9 月 30 日までの取組状況と 10 月 1 日以降の今後の取組についてご説明し、協議を行っていただきました。

今年度も残り少なくなってきましたが、1 月 31 日までの取組状況や現時点での成果や課題について説明をさせていただきます。

1 ページの重点施策 1 学力向上の推進の進捗状況と成果・課題について、でございます。この項目は 5 ページまでとなっております。資料につきましては、1 ページから 8 ページとなっております。5 ページまで説明させていただいた後にご意見をいただきたいと存じます。

めざす姿といたしましては、恒常的に授業改善に取り組み、それぞれの力量を高め合おうとする職員組織。目標を持って授業に臨み、深い学びと自己の変容を実感している児童生徒でありまして、指標といたしまして、全国学力学習調査質問紙の「めあての提示」と「振り返りの実施」の項目について、肯定的な回答をした児童生徒の割合が、前年度比プラス 1 % 以上としております。現時点での達成状況は、全国学調及び「授業に関する児童生徒アンケート」結果より、授業の中で、目標（めあて・ねらい）につきまして、同じ対象者で言いますと、平成 29 年学調と平成 29 年アンケートについて、ご覧のパーセンテージとなっております、比率がアップしております。

下の段の授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた、でございますけれども、同じ対象者で言いますと、平成 29 年学調と平成 29 年アンケートについて、こちらもお覧のパーセンテージとなっております、比率がアップしております。下の取組事業につきましては、1 ページの学力向上支援事業から 5 ページのグローバル体験事業まで 5 つの事業を説明させていただきます。まず、学力向上支援事業でございますけれども、事業内容といたしまして、公募により市教委が指定した学校において、招聘した講師に指導助言をいただきながら授業研究に取り組み、児童生徒の学力の向上を目指す、としております。平成 29 年度、1 月 31 日までの取組状況でございますが、研究指定校 4 校で実施いたしております。また、公開研究発表会を有馬小学校、五郷中学校で実施いたしております。現時点の成果・課題につきましては、平成 29 年度全国学力学習調査の結果からは、授業時の「めあて」「振り返り」活動について、特に小学校の結果に課題があったことから、授業研究を通じて改善を図ってきました。その結果、多くの授業において「めあて」の提示が行われ、「振り返り」についても意識した授業展開がなされるようになってきました。2 年目の研究指定校による公開授業研究発表会の開催等を通じ、指導の工夫、改善、充実等の研修成果を市内の各小中学校に発信しました、などとなっております。

次に、2 ページをご覧ください。学力向上推進研修事業でございます。事業内容といたしまして、市教委が研修会を実施し、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、教員が授業の工夫、改善を行うとともに、自らの指導力に高めることによって、児童生徒の学力の向上を目指す、といたしております。平成 29 年度の取組状況ですが、学力向上推進研修会を 3 回開催いたしております。また、学力先進校視察研修として、川越町立川越南小学校へ訪問いたしております。現時点の成果と課題でございますけれども、3 回の研修会を通し、全国学力・学習状況調査結果の活用、具体的な授業の工夫改善に向けた研修を実施することができました。第 2 回については、全教員を対象とした研修としました。多くの教員が学ぶ機会となり、次年度も、3 回のうちの 1 回は、全職員対象の研修会とします、などとなっております。

3 ページをご覧ください。学力向上特別支援事業でございます。事業内容といたしまして、木本中学校を市研究指定校とし、「学びの共同体」等の具体的な手法を取り入れながら、市内の学力向上のパイロット校としての実践的な取組を進めます。平成 29 年度の取組状況でありますけれども、公開授業研究会を 3 回実施いたしております。

現時点の成果と課題でございますが、生徒一人ひとりの学びを保証し、学力向上を目指して「学びの共同体」に基づく授業改革、学校改革を目指してきました。公開授業研究会では、講師の先生方の指導から、授業のあり方や生徒の見方、課題の与え方などを教職員が自ら考えるきっかけをいただいています、などとなっております。

4 ページをご覧ください。地域未来塾事業でございます。事業内容といたしまして、夏・冬の長期休業中に、小学校 4～6 年生の希望児童を対象として、市の施設や各学校において学習支援を行います。講師には、この地域出身の大学生や教員 OB 等をあてます。参加児童が「わかる楽しさ」を実感し、そのことで学習意欲の向上が図られることを目指します。多くの児童の参加が得られるよう、各学校での参加呼びかけの強化等に取り組みます、となっております。平成 29 年度の取組状況でございますが、夏休み期間中に 15 日、冬休み期間中に 3 日。会場は、市民会館他でありまして、参加児童数は、77 人で延べ 415 人ございました。現時点の成果と課題でございますけれども、参加した子どもたちの感想からは、学習に前向きに取り組むきっかけとなったことが伺えます。また、普段接することのない他校の児童との交流の機会にもなり、学習に対するあらたな刺激にもなっています。学習会に参加している児童は、学習への意欲に差があり、学習理解度も様々です。そのような中での指導は、将来教員を目指す大学生講師にとっては、より実践に近い形で子どもに接する機会となっており、自らの指導法を振り返ったり、教職についての意欲をさらに高める場ともなっています、などであります。下の段の課題でございますが、一度参加した児童は、次も参加することが多いですが、実際の参加者は対象学年全体の 2 割ほどです。参加者の幅をいかに広げていくかも今後の課題となっております。

最後に 5 ページをご覧ください。グローバル体験事業でございます。事業内容といたしまして、英語の世界を楽しく体験させることにより、グローバル社会に対応できる児童生徒の育成をめざします。英語で、身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現などができる能力を身につけさせます。多くの児童生徒の参加が得られるよう、啓発活動に取り組みます。平成 29 年度の取組状況でございますが、グローバル・スポーツ・イベントや夏休み英会話教室、ウィンターフェスティバルを実施いたしました。現時点の成果と課題でございますが、各イベント等を通じて、多くの子どもたちの参加を得、英語の世界を楽しく体験させることができました。参加した子どもたちの様子から、これからのグローバル社会に対応できる力をつけることへのきっかけづくりになったと考えます、などとなっ

ております。下の段の課題でございますが、参加した児童・生徒が英語に興味を持つなど成果は見られましたが、その一方で、参加者の固定化などが見られました。今後、参加者の広がりを目指す必要があります、などとなっております。重点施策 1 は以上でございます。何かご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

北野委員 地域未来塾についてお聞きしたいのですが、参加している子どもが 2 割ということなんですが、今後この 2 割を 5 割ぐらいに上げる方策を考えておられるのか。また、資料を見せていただいても、学校によっては、参加人数の差がありますので、今後それぞれの学校でやっていくことがあるのか教えていただきたいのですが。

楠学校教育課長 地域未来塾ですが、こちらの考えとしましては、3 割を目指したいと思っております。そのためにどうしたら良いのかということで、昨年度からの工夫として、学校へ周知をする時には、カラーのコピー用紙を使用しております。あとは、学校側の協力も不可欠だと思います。山間部の学校や市街地の学校で実施していますが、来年度は 3 割の児童の参加を目指して取り組んでいきたいと思っております。

北野委員 どうもありがとうございました。それで、ぜひとも市長にお願いがあるんですが、この地域未来塾事業はとても良い事業だと思うんです。4 年生から 6 年生までだと、勉強の出遅れを取り戻すのに良いタイミングだと思いますので、ぜひこの事業でもう少し予算もつけていただけて頑張っていたきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

岡本総務課長 他にございませんでしょうか。

高見委員 同じ未来塾事業のことなんですが、呼びかけについて、学校にカラーコピーでお知らせしたということなんですけども、学校単位で 1 枚もしくは、個人個人に渡したんですか。

楠学校教育課長 全て学年対象の子どもたちに配布しております。

高見委員 それは、学校の先生から子どもたちに直接渡していただいたんですか。

楠学校教育課長 はい、そういうことです。

高見委員 子どもたちに直接渡すのも良いかと思うのですが、夏休み前とかに必ず保護者懇談がありますよね。その時に保護者の方に地域未来塾の案内をしていただくことも 1 つの啓発かなと思います。先生方の中でも子どもたちに対して、対象になる子どもを把握していると思いますので、主に対象となる子どもの保護者の方にお知らせしていただければと思います。

- 楠学校教育課長      ありがとうございます。委員さんのおっしゃるとおりだと思います。来年度は、学校で一斉に配布するというよりも、保護者懇談会等の機会を通じて案内をさせていただきたいと思います。
- 糸川委員            保護者の方に連絡するのはもちろんなんですけども、参加した子どもたちが、どんなことが良かったとか発表する場があれば良いなと思いました。参加していない子どもたちに影響を与えるかもしれないので、そういう場があると良いと思います。
- 楠学校教育課長      子どもたちの間での口コミの影響は大きいと思います。子どもたちのアンケートでも、勉強が分かるようになったと思うとかやる気を持って勉強できたなど高い割合で良い評価をしてもらっているので、ぜひ子どもたちの間で、口コミで広がってってもらえたらと思います。
- 糸川委員            口コミも良いと思うのですが、夏休みに入る前に前回参加した子どもたちの意見を発表するとか、事業を始める前にそういう場を作るとなお良いですよ。
- 岡本総務課長        他にございませんでしょうか。
- 大久保委員          学力向上ということで、いろいろな施策に取り組んでもらっているんですけども、結局、学力をつける根本は、指導者または教員の力だと思います。いかに良い授業をしたとか、子どもにやる気を起こさせるかとか、それが上手くできたら、子どもが持っている力を自然と発揮してくるのではないかと思います。そういう意味で、いろんな取組をやってもらって、徐々に成果が出ているなという感じはするんですけども。市外からもいろんな講師を招いてやっていることも多いんですが、地元でも素晴らしい先生が各学校で見えるのではないかと思います。この先生に習って学校が楽しくなったとかやる気が出てきたとかそういう話を聞きます。そういう先生を上手く地元で生かして、この学力向上推進に力を貸してもらえたら良いのではないかなと思います。これは感想ですけども。
- 楠学校教育課長      ありがとうございます。まず教師は、授業が勝負だと思います。地元にも高いスキルをもった教員もおります。できる限りそういった教員も活用しながら進めてまいりたいと思います。
- 河上市長            今の話にも繋がるんですけども、結局、学力が伸びたからどうかというのは最終的に指標にならないといけないんですけど、指標としてなぜ出せないのか、よくまた考えておいてください。それから、今の話の続きで行くと、2 ページ目の先進校視察は多くの刺激と示唆を受けました、とありますが、ここで終わったら単なる視察ですよ。示唆と刺激を受けた後、どういう風に授業を改善したとか、その辺に繋がってはじめて先進地視察に行った意味があると思いま

す。やっぱりどういう風に変わったか変えたか、そういう部分が指標になるように少し工夫がいるのではないかなと思います。4 ページから 6 ページについて、先ほどの 3 割を少なくとも目標にするのであれば、母数がないとわからないので、どの学校が 1 割でどの学校が 3 割だと具体的にわからないので。資料には、例えば有馬小学校の国語の参加者が 11 人で、4 年生は何人、5 年生は何人、6 年生は何人と書いていますが、成果と課題の資料には書いてないので、次回は、成果と課題の資料とその資料と連動して見やすいものにしていただければと思います。

岡本総務課長      ありがとうございました。重点施策 1 につきまして、よろしいでしょうか。

それでは、6 ページをご覧ください。重点施策 2 豊かな心の育成の進捗状況と現時点の成果・課題であります。7 ページまでとなっております。資料につきましては、9 ページとなっております。めざす姿は、いじめを決して許さない児童生徒。ふるさと熊野市を愛し、誇りが持てる児童生徒。指標といたしまして、小中学校におけるいじめ認知件数 0 件。現時点の認知件数は 23 件となっております。取組事業の 1 点目、いじめ防止基本方針の見直しの事業内容といたしまして、熊野市いじめ防止基本方針及び各学校のいじめ防止基本方針の見直しを行います。取組状況といたしまして、全校で見直しを行い、そのうち 4 校で改定を行っております。現時点の成果と課題は、今後も県、市の基本方針改訂をふまえた見直しを進める必要があります。

次のいじめ対策事業でありますけれども、7 ページに渡っております。事業内容といたしましては、市内の小学 3 年生以上の全児童及び全中学生を対象に、学級満足度調査 (QU 調査) およびその結果を踏まえた研修会を実施し、より良い学級・学校づくりを目指します。また、定期的にいじめアンケートを実施し、未然防止、早期発見、早期対応を図ります。さらに、熊野市子どものいじめの防止等に関する条例が施行されたことに伴い、熊野市いじめ問題対策連絡協議会を開催し、関係機関・団体とともに効果的な啓発や対策について協議します。次ページをご覧くださいと思います。図が描かれております。縦軸であります、上の方に行くほど自分が認められていると感じている。横軸は、右の方に行くほど嫌がらせを受けていない、侵害されていないと感じているというものでございます。右上は、学級生活満足群。左下が要支援群。その上が学級生活不満足群となっております。これが、学級満足度尺度結果であります。6 ページに戻っていただきまして、平成 29 年度の取組状況でありま

すけれども、いじめ問題対策連絡協議会の実施、いじめの問題を含むアンケートの実施、保護者対象のいじめの問題を含むアンケートの実施、学校評議員対象のいじめの問題を含むアンケートを実施しております。いじめ認知件数について、平成 29 年度では、小学校 17 件、中学校 6 件となっております。7 ページに移りまして、いじめ対策事業研修会の開催もいたしております。演題は、Q U 調査を活用した学級集団づくりでございます。6 ページに戻っていただき、現時点での成果と課題でございますが、いじめ問題対策連絡協議会の実施では、児童相談所、警察署、福祉、青少年育成市民会議、保護者代表等の関係者に学校や教育委員会の取組、現状について理解していただくとともに、地域や各団体との連携が重要であることを確認いたしました。いじめの問題を含むアンケートの実施では、アンケートから明らかになる事案もあるため、未然防止、早期発見、早期対応に活用しました。また、アンケートから事案を特定できないケースがあり、特定し、解決までつなげる必要があります。保護者対象のいじめの問題を含むアンケートの実施では、保護者の学校教育活動への思いをはあくするとともに、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に活用しました。学校評議員対象のいじめの問題を含むアンケートの実施では、学校のいじめ問題についての対応などに意見をいただきました。7 ページでございますが、いじめ対策事業研修会の開催では、Q U 調査結果の有効な活用について学ぶことができました。いじめられる側に立つことが多い発達障害のある子どもへの理解が大切であることを再確認する場となりました、となっております。

次に、郷土教育の充実でございます。事業内容といたしまして、小学校社会科副読本「わたしたちの熊野市」を活用するとともに、地域で活躍している方をゲストティーチャーとして招き、地域学習の充実に取り組みます。また、「学校における囲碁教室事業」を行い、日本唯一の黒碁石の産地でもある、ふるさと熊野市を愛する心を育てます。平成 29 年度の取組状況でございますが、学校における囲碁教室事業について、実施校は新鹿小学校をはじめ 6 校で実施しております。学校給食における特産品の活用では、学校給食において、ふるさと熊野市の産物である「新姫」を活用しております。現時点の成果と課題につきまして、学校への聞き取り調査から郷土や地域について学ぶことで、郷土や地域について理解を深めることができました。囲碁の実力を向上させるとともに、ふるさと熊野市への愛情を育みました。囲碁教室の実施にあたっては、プロ棋士の派遣等、日本棋院の協力を得ました。学校への聞き取り調査から「新姫」の

認知度を高めるとともに、郷土の自然、産業等への理解を深めることができました。今後は全校で活用し、さらに認知度を高め、郷土への理解、愛情を育むことが必要です、となっております。以上、重点施策 2 の説明をさせていただきました。何かご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

岡本総務課長

ないようですので、次に移らせていただきます。8 ページをご覧ください。重点施策 3 安全で安心な学校環境づくりの進捗状況と現時点の成果・課題でございます。10 ページまでとなっております。資料につきましては、10 ページとなります。めざす姿は、防災ノートの活用や地域防災組織との防災訓練等を通じて、家庭や地域と連携して防災教育に取り組むことができる学校としており、指標につきましては、地域防災組織等と連携した防災訓練等を全小中学校で実施。現時点の達成状況は、16 校中 9 校実施しております。ただ、年度内にあと 5 校実施予定となっております。取組事業といたしまして、学校防災対策推進事業でございますけれども、事業内容といたしまして、市教委主催の研修会を開催し、大地震や台風等による災害時に、児童生徒及び教職員の安全を確保するとともに、平常時から万全の対応ができるよう、各学校（地域）の実態に応じた防災対策・防災教育を推進します。取組状況であります。学校防災対策推進研修会を開催いたしております。第 1 回目は、避難所運営訓練。第 2 回目は、有馬小学校において、児童対象「ストローハウス製作」などとなっております。現時点の成果と課題につきましては、災害時の避難所運営について、シミュレーションすることができました。地域の方の参加を得、ともに取り組むことで連携を図ることができました。災害時の避難経路や避難場所の有効性と課題を把握することができました。今後、地域と連携した研修会とする場合は、地域の方の参加者を増やすことが必要です、などとなっております。

9 ページをご覧ください。取組事業名、防災教育の充実でございます。事業内容といたしまして、「防災ノート」等を活用しながら、学校・家庭が連携した防災教育を充実します。また、児童・生徒が直接校区内を歩いて、危険箇所等を調べ、防災マップを作成することで、防災意識を高めます。取組状況ですけれども、危険箇所調べ実施校では、14 校。防災マップ実施校では、4 校となっております。今後実施予定の学校はご覧の小中学校でございます。現時点の成果・課題でございますが、学校への聞き取りから児童生徒が校区内を歩いて、危険箇所等を調べ、防災マップを作成することで防災意識を高めることができました。実施した学校だけでなく、学校全体で共有することが必要です、などとなっております。

次に、各種訓練等の充実でございます。事業内容といたしまして、地域防災組織と連携し、各学校が置かれている地理的条件に応じた避難訓練等を行います。取組状況といたしまして、実施校は、9校。実施予定校は5校となっております。学校単独実施校は2校となっておりますけれども、地域の方に呼びかけをしましたが、連携に至りませんでした。現時点での成果と課題でございますが、連携した避難訓練等を行うことで課題を共有するとともに有事の際の行動の基盤づくりを行うことができました。今後はさらに学校と地域防災組織等との連携を深めていきます、となっております。

続いて、10ページをご覧ください。関係部局等との連携でございます。事業内容でございますが、防災対策推進課、消防、警察、県教育委員会、三重大学等と連携しながら学校防災の取組を推進します。取組状況でございますが、熊野市防災対策推進研修会、防災教育支援事業、熊野市避難所運営訓練、熊野市総合防災訓練に参加などしております。現時点での成果と課題は、関係部局と連携をする学校が増加しました。行政からの提案や要請によって実現することが多く、各校の実情や課題に応じ、学校が主体となって連携を進めることも必要です。今後も様々な形で連携を深め、学校防災の充実に向け進めてまいります、となっております。重点施策3は以上でございます。何かご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

大久保委員

防災教育ということで、地震等を対象に盛んに各学校で訓練が行われているようなんですけども、それによってそういう方面での力は子どもたちにも付いてきているのではないかと思います。学校でもいろいろやってもらっていると思うのですが、地震は学校にいる時だけに起こるわけではないので、家でいる時、遊びに行っている時でも対処できる力を付けてやらなくてはいけないと思います。地震だけではなくて、大雨の時とかについてもどう対処するかということも併せて取り組んでいただけたらと思います。

楠学校教育課長

ありがとうございます。防災教育を考える時に、学校単独では、必ず年3回いろんな訓練を行っています。ただ、大震災が起こった時は、学校だけでは対応できないというケースもあるかと思います。これまでの研修会で講師から言われております。その中で、やはり地域の方との連携がとても大事になります。一昨年度に比べて本年度は、まだまだ小規模ですが、地域の方との連携ができてきたと思います。これからいかに地区の防災の方々と連携した取組ができるかというのが、大きな課題ではないかと思います。あらゆることを想定することもこれまでの知見で、市内の学校は認識していま

す。学校によっては、避難場所を1カ所としていましたが、いろいろなことを想定して、学校の屋上を考えたり、違う避難場所を考えたりしております。一番怖いのは、固定観念と言いますか、何かあったらここだということではなくて、いろいろなケースがあると思いますので、それらに対応する力を付けることが大事だと考えます。あと、各学校においても校区を回ったり、危険個所がどこにあるのか意識付ける取組を行っています。また、家庭でいる時は、防災ノートを活用して家族で話し合いをしていただきたいと思います。今後も、ありとあらゆることを想定して進めていきたいと考えております。

倉本教育長

年度当初に各学校には、最低3回は実施することと地域と連携して実施する機会を設けることということで、指示をいたしました。東日本大震災後は、とにかく自分の命を守る、転んでも足をすりむいても高い所へ自分だけ走って逃げなさいという状況の中で訓練をなされていたのですが、学校で3回の訓練というのはそれぞれ学校の中での時に、何曜日の何時間目に実施するといったような計画的なものになってしまって、いざという時にそれが役に立つのだろうか、ということが懸念されます。3回の内の1回は職員にも子どもたちにも知らせずに実施することも必要ではないかと。これは、学校の置かれている状況が違いますので、難しいですが。私が山間部で勤めていた時は、飛び出しても安全ということを踏まえて、職員にも子どもたちにも言わずに、何月に訓練するよというような形で実施したことがあります。そういったものも含めてやって行かなくてはいけないなと感じております。

岡本総務課長

それでは、次の施策に移らせていただきます。11ページをご覧ください。重点施策4子どもの読書活動の推進の進捗状況と現時点の成果・課題でございます。12ページまでとなっております。資料につきましては、11ページから13ページでございます。めざす姿は、子どもが未来への夢や目標を抱いて自らを高めるために、自ら進んで読書に親しんでいる。指標といたしまして、1カ月間に1冊も本を読まなかった割合を小学生2%以下、中学生11%以下とし、現時点の達成状況ですが、現時点で調査中でございます。

1点目の取組事業としまして、子どもの心づくり事業(読み聞かせ)でございます。事業内容は、おはなしなかに、幼児のおはなし会、おはなしわくわくなど、子どもの成長に合わせた読書活動をボランティアの協力を得ながら実施します。また、健康長寿課が主催するブックスタート事業に協力します。取組状況でございますが、おはなしなかになど参加者延べ360名。昨年同時期で573名でありまし

た。現時点の成果と課題ですが、4か月検診時のブックスタートから乳児向けの「おはなしなあに」そして、「乳児のおはなし会」、「おはなしわくわく」へと子どもの成長に合わせた読書推進の働きかけができました。参加者数が減少しています。今後はさらに健康・長寿課やボランティアとの連携を密にし、開催日や時間帯を工夫するなど、参加の拡大と内容の充実を図ります。

次に、学校との連携では、事業内容といたしまして、より読書に親しむことができるよう、学校への団体貸付制度の利用促進や、小学校への読書ボランティアの派遣を充実するなど、子どもの読書の機会を増やします。市内の小・中学校の児童生徒を対象に、読書の習慣がどの程度身についているかの調査を行います。取組状況でありますけれども、団体貸付のPR、貸出数は、3,765冊。昨年同時期で4,021冊でございました。小学校へのボランティアの派遣につきましては、5校へ26回、延べ49人の派遣を行っております。対象児童は、415人でございます。現時点の成果と課題につきましては、団体貸付を利用する小学校数が増えました。図書館見学会への参加校が増えました。小学校への読書ボランティアの派遣について、今後は、市内全学校へ継続的に派遣されるよう働きかけます。読書の習慣がどの程度身についているかについては、市内全小中学校生を対象としたアンケート調査により、現在回収して集計を行っております。

12ページをご覧ください。ボランティア活動活性化事業につきましては、ボランティア活動の活性化を図るため、ボランティア活動報告会・説明会等を開催します。取組状況は、図書館ボランティア活動報告展示会や図書館ボランティア講座を開催しております。現時点の成果と課題は、ボランティア活動報告展示会の開催により、ボランティア活動の活性化につながり、新たな方が3名加わりました。今後もボランティアの増員と育成を図ります。

次の読書感想文コンクールの事業内容は、小中学生を対象に自分の意見をまとめ、その考えを表現する力を養うために読書感想文コンクールを実施します。取組状況としまして、各学校における冬季休業中の課題として取り入れていただくよう取り組みました。平成29年度応募者数は、小学生が107名でございました。現時点での成果と課題は、今後も読書を通じた読解力の育成など、学力向上の一環として学校と連携しながら継続して取り組んでいきます。

最後の蔵書整備事業でございます。事業内容は、児童書をはじめとした蔵書の充実を図ります。取組状況としまして、新刊のほか、教科書で紹介されている本、読み継がれている良書などを購入しま

した。購入冊数は 5,366 冊で蔵書は 166,733 冊となっております。現時点での成果と課題でございますが、市立図書館として児童書をはじめ幅広い分野の本をバランスよく蔵書することに努めています。特色ある図書館を目指し、郷土資料、防災、イタリア、東南アジア関係の本なども数多く収集しております。以上、重点施策 4 でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

大久保委員

図書館の図書の貸付けで、学校への団体貸付がたいへん多いなと感じました。今、学校予算の中で図書がどのくらい買えるのかわかりませんが、図書館にはたくさん良い本があって、それらを各学校で利用してもらえるというのは、ありがたいことだなと思います。

あと、図書館での読み聞かせの参加人数がずいぶん減っているように思います。原因は、子どもの絶対数が減っているから少ないのか、おはなし会が魅力的でないのか、その辺を分析などして、どう対策していかれるのでしょうか。

ボランティアでは、全体で 24 名。読み聞かせで 11 名。配架が 11 名。修理が 3 名ということなのですが、募集しても参加していただけるボランティアがいないと。配架であれば、朝来て配架の整理は何もいらずにできるわけですが。読み聞かせは、どこかへ行くとなると年齢、季節等に合わせて本を選ばなければなりませんよね。そして、本を読む練習を何回もしなければならぬと。私もわからなかったんですが、紀州弁は独特なアクセントがあるらしく、本を読むときにたいへん気を付けなければなりません。そういうことで、ボランティアをしてくれる方が非常に少ないんですね。実際、11 名いますが、来年は 1 人都合で辞められると聞いています。この中でも小学校へ行ってくれる方が 3 人か 4 人くらいしかいないんですね。なんとかもっと工夫して取り組んでいただければと思います。

それから、図書館の中で、司書の力というのは大きいと思うんです。司書の力によって図書館が栄えるかどうか決まってくると思うんです。今熊野市は、司書が 2 人と司書補助が 1 人おられますが、本来 3 人とも司書が望ましいと思います。やっぱり良い人に来ていただくためには、それなりの待遇が必要かと思います。市の場合は、3 人とも同じ待遇になっておるんですが、司書はそれなりの資格を持っていますから、待遇改善をしていただければと思います。司書は、資格とともに、土日も出勤しなくてはならないと。非常に勤務が不規則で、他の職員と比べるとずいぶん不利なように感じます。それでも働きたいなというほどの多少の待遇があれば良いなという感想

を持っています。

雑賀社会教育課長補佐

まず1点目の読み聞かせの参加人数が減少している要因ですが、現場で担当している職員から何度か聞き取りしましたが、連れてきてくださるお母さん方が仕事に就いて結果的に来れなくなるというケースが増えていると伺っております。ですので、時間帯だとか曜日等を工夫していかなければならないと考えております。

ボランティアの件につきましては、大久保委員のおっしゃるとおりで、たいへん苦慮しております。なかなか人数が集まらないという状況です。新しい方が加わりましても事情で来れなくなる方がいらっしやいます。人数を増やす方策は難しいですが、協力していただける方を探させていただきたいと考えております。

河上市長

司書の処遇については、私は直接答えられないので、全般的な職員の体制の在り方について申し上げますと、臨時職員の処遇の改善は、随時図ってきているところでございます。いろいろとご意見はあるんでしょうけれども、司書だけが特別大変だという状況ではないという風に、私の立場からいうと言わざるを得ません。それぞれ大変な状況で一生懸命やっただけでございますので。基本的に、臨時職員の差は付けづらい状況ではあるのですが、来年度、法律改正が行われて、法律改正を基に臨時職員については、会計年度採用職員という言い方をするようですが、正規職員と同じように働く年数とかを踏まえた給料の在り方等も実行できるというようなことになりそうですから、国や地方公務員の臨時的職員の待遇に関する制度が変わるときに、いただいたご意見を踏まえて全体の中のバランスを見ながら考えさせていただきます。

倉本教育長

読み聞かせボランティアの小学校へ行っていただいている方が3、4名しかいないという実態の中で、どうすればボランティアを増やすことができるのか、増えない原因は何かというところをもう少し詳しく突き詰めたうえで、ボランティアの方々の意見を聞きながら進めてまいりたいと思います。

おはなし会についても、保護者が就労してなかなか子どもを連れて来ることができないと。そういった現状を踏まえてどうしていけばいいのか分析したうえで対応してまいりたいと考えております。

大久保委員

確かに今若いお母さんも働いている方が非常に増えていきますよね。そのような状況の中で、図書館へ来ていただくよりも必ず子どもたちがいる保育所であるとか小学校へ行って、おはなしをしてもらうということは効果的だと思います。一度にたくさん子どもたちに聞かせることができます。そういう取組みを増やしていただきたいと思います。

岡本総務課長

ありがとうございます。次の施策へ移らせていただきます。13 ページをご覧ください。重点施策 5 生涯学習環境の整備の進捗状況と現時点の成果・課題でございます。15 ページまでとなっております。資料については、14 ページから 15 ページとなっております。めざす姿といたしまして、市民一人ひとりが生涯にわたって学習や文化芸術等に親しみ、自己実現を果たしながら生きがいを感じ心豊かに生活しています。指標といたしましては、熊野市立図書館の企画事業、各種生涯学習事業の評価が 4.5（おおむね満足）以上で、現時点の達成状況は、熊野市立図書館の企画事業、各種生涯学習事業の評価は 4.76 となっております。

取組事業といたしまして、各種生涯学習講座、事業内容としましては、子ども囲碁教室をはじめとした子ども体験教室やイタリア語会話教室など、多様な生涯学習機会を提供します。幅広くニーズに即した講座を行うため、参加者や講師等の意見を積極的に聴取するとともに、効果的な情報発信についても注力します。取組状況につきましては、11 講座を開催しております。受講者数は延べ 1,611 名で昨年同時期では、延べ 1,752 名となっております。現時点の成果と課題ですが、多くの市民に生涯学習の機会を提供しました。今後でもできる限り市民のニーズの把握に努めるとともに、ニーズに応じた教室のスクラップアンドビルドを行います、としております。

14 ページをご覧ください。市民文化祭でありますけれども、事業内容といたしまして、日頃の文化芸術活動推進の拠点である市民会館及び文化交流センターにおいて、その成果を披露する機会を提供します。取組状況については、市民文化祭を市民会館及び文化交流センターで開催しました。展示部門では、出品者が 330 名。ステージ部門では、出演者数が 343 名となっております。現時点の成果と課題ですが、市民の文化芸術活動など生涯学習に対する意欲の向上が図られました。本年度は、多くの市民に観ていただけるよう、場所、開催回数を工夫しました。今後も活動の場や機会を提供するなどして市民意識の向上を図ります。

まちの人材活用事業でございます。事業内容は、知識や技能を持つ人材を、まちの人材として登録・派遣し、地域の生涯学習活動の充実に努めます。取組状況では、ダンス教室、折り鶴学習会、手話教室などの登録人材を地域に派遣しております。登録者数は 110 名。派遣人数は延べ 24 名。受講者数は延べ 617 名となっております。現時点の成果と課題ですが、市民と行政が協働で生涯学習の機会を提供することができました。今後も様々な特技や知識を持った人材の登録を促進し、積極的に派遣することで生涯学習の充実に図り

ます。登録された人材を有効に活用するため、地域の公民館等に対し、周知を進めます、となっております。

最後に 15 ページをご覧ください。読書推進事業でございます。事業内容といたしまして、市立図書館において文学講座、テーマ展示など各種読書推進事業を実施するとともに、蔵書の充実を図ります。取組状況でございますが、近代文学作家を題材にした文学講座は月 1 回開催していますが、季節や話題に応じたテーマ展示や企画展を継続的に実施するとともに、蔵書の計画的購入を図っています。文学講座の受講者数は延べ 290 名となっております。現時点の成果と課題でございますが、図書館の利用者が本年度減少しており、その要因を分析するとともに、今後も工夫をこらした事業等により、図書館の利用を促進し、読書の推進を図ります。文学講座の受講者から「老いて学ぶ楽しさを実感しています。」「自分で調べられそうにない細やかなところのお話もあり、とても新鮮です。」等高い評価の意見を頂いており、今後も継続して実施していきます。以上が重点施策 5 でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしく願いいたします。

糸川委員 現時点の達成状況で、図書館の企画事業、各種生涯学習事業の評価で、データ件数 122 という数字なんですが、これは 122 人に聞いたということなんですか。

雑賀社会教育課長補佐 はい、そのとおりです。

糸川委員 受講者数が延べ 1,611 人になっていきますけども、その中で 122 人ということは、この方たちが重複していろいろな講座に参加されているということなんですか。

雑賀社会教育課長補佐 122 人はほぼ重複していないと考えております。

糸川委員 122 人の方プラス何人かの方がたくさん参加されているということなんですか。

雑賀社会教育課長補佐 延べ人数で出ております関係で実参加人数が、明確でないというのが以前からの問題ではあります。この講座の中では、だいたい毎回同じ方が参加されていると。例えば、市民大学ですと 60 人から 70 人参加されております。その中では、同じ方がおられます。紀和寿学園におきましても毎回 60 人余り参加していただいておりますが、紀和の方が毎回楽しみにして来ていただいているというような状況です。

糸川委員 来られた方の評価は概ね高いですね。参加しない方について、どうして参加されないのか。たくさんの方に参加していただきたい事業ですので、参加されない方のご意見も聞いていただいて、今後たくさんの方に参加していただけるようになると、なお良いので

はないかなと思います。

雑賀社会教育課長補佐

糸川委員のおっしゃるとおりだと思います。いろんなところで、どのような講座が良いかという意見はなるべくお伺いするようにしております。市民の方全員に聞くことはなかなか難しいのですが、今後、機会がある事に積極的にそのような調査をしていきたいと思っております。

岡本総務課長

よろしいでしょうか。それでは、最後の重点施策 6 に移らせていただきます。16 ページをご覧ください。重点施策 6 生涯スポーツの普及と促進の進捗状況と現時点の成果・課題でございます。17 ページまででございます。資料につきましては、15 ページから 16 ページでございます。めざす姿は、熊野市内で各種競技が活発に開催され、多くの市民が生涯スポーツを楽しんでいます。指標といたしまして、まちづくりアンケートにおいて、スポーツ施設や公民館等で週に 1 回以上スポーツを楽しんでいる割合が 10%以上でございます。平成 28 年度は 9.0%でございました。現時点の達成状況でありますけれども、3 月上旬に結果が出る予定となっております。まずはじめの市民健康スポーツ祭の開催であります。事業内容といたしまして、市民に対し、スポーツ・レクリエーションの活動の場を提供し、生涯にわたり健康でいきいきしたスポーツライフの実現を図ります。取組状況でございますが、11 月 12 日に市内各地域から 1,200 人が集まり、盛大に開催されました。成果と課題ですが、ダンスや踊りなど、単に観るだけのプログラムはなくし、体育協会加盟団体等による体験ブースを設けるなど、参加型を重視した内容により、多くの市民に様々なスポーツを楽しんでいただくことができました。障がい者スポーツを推進するため、身体障害者(児)福祉連合会や社会福祉協議会にも協力をいただきました。海岸部や山間部からの参加者を増やすための方策を検討する必要があります。

次に、総合型地域スポーツクラブの育成事業でございます。事業内容といたしまして、生涯スポーツ社会の実現のため、子どもから高齢者までが年齢や体力に応じてスポーツに親しめるよう、スポーツ推進委員協議会の活動を活性化するとともに、地域スポーツクラブの事業を充実します。取組状況でございますが、スポーツクラブの指導者のもと、15 種目のスポーツについて親しんでおられます。会員登録者数は 426 名となっております。現時点の成果と課題であります。ストレッチやヨガの教室が女性に人気で、会員が前年から 18%増えています。今後も指導者の育成やメニューの充実を図り、会員を増やしていく必要があります。役員の若返りなどを通じ、クラブの活性化が今後の課題となっております。

続きまして、17 ページをご覧ください。スポーツ少年団育成事業でございます。事業内容といたしまして、市内の各スポーツ少年団の活動に対し助成を行い、スポーツを通じて青少年の健全育成を図ります。取組状況でございますが、熊野市スポーツ少年団結団式・親睦大会や熊野市南郡スポーツ少年団交歓競技大会などを開催いたしております。登録数は、13 団で 246 名となっております。指導者は 39 名在籍しておられます。現時点の成果と課題ですが、各種大会を通じて交流の輪が広がり、また、技術向上、団活動の活性化が図られました。指導者研修会の開催により、指導者や保護者の学ぶ機会が生まれ、知識を深めることができました。少子化により、種目によっては団員の確保が難しい状況にあります。

最後になりますが、高校総体、国体開催体制の構築事業でございます。事業内容といたしまして、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会開催に向け、「南東北総体」、国民体育大会「福井国体プレ大会」の視察を行い、当市での開催を情報発信して開催機運を高めるなど、関係団体と連携し、多くの市民の協力を得て諸準備を進めていきます。取組状況ですが、平成 30 年度全国高校総体、ソフトボール男子及びソフトボール女子や平成 33 年国体、ラグビー成年男子及びソフトボール成年女子の開催に向けて、山形県南陽市で開催された高校総体や福井国体プレ大会の視察をはじめ、三重県大会準備会議等に参加しております。成果と課題は、高校総体やプレ国体の視察、各種会議等への出席により、開催に向けての課題や諸準備について把握することができました。今後は更なる啓発活動を実施し、市民の機運の醸成を図る必要があります、としております。以上が重点施策 6 の説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

河上市長

少しだけ注文なんです、各施策の現時点の達成状況で、11 ページの不読率を調査中とか 16 ページの 3 月上旬に結果が出る予定とか、あとは 15 ページの図書館の利用者が減少して、その要因を分析中とあるんですが、最後の総合教育会議がこの時期にあるということがわかっているので、その時点までの数字というのは確実に示してもらわないと委員の皆さんに議論や評価ができないので、次回はこういうことがないように気を付けてもらいたいと思います。

岡本総務課長

以後、気を付けます。

重点施策 1 から重点施策 6 まで全体を通して、ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

岡本総務課長

よろしいでしょうか。ないようですので、事項書の 2 (2) その他でございますが、各委員の皆様から何かございませんでしょうか。

委員

無し。

岡本総務課長

事務局からですが、今回で今年度の会議は終了いたします。また、本日は、委員の皆様からいろいろなご意見等を頂きました。これまでの成果・課題を踏まえまして、これからの事業に反映させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。アンケートの集計等につきましては、早いうちに結果を出すように努めてまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

本日の事項につきましてすべて終了となりましたので、平成 29 年度第 3 回熊野市総合教育会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。